

# 令和4年度第2回神奈川県公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学評価委員会 議事録

## 議題1 令和3年度業務実績評価書（案）について

---

事務局から資料1～4について説明した。

### 【質疑応答】

- 梅原委員長 まずは評価の分かれた項目からご意見を伺いたい。  
小項目10について、評価が分かれているがいかがか。

(特に意見なし)

- 梅原委員長 では、評価の平均値に基づき、S評価とするがよろしいか。

(異議なし)

- 梅原委員長 小項目16の評価及び特記事項についていかがか。

(特に意見なし)

- 梅原委員長 では、評価の平均値に基づき、A評価とするがよろしいか。  
また、特記事項についても事務局素案の通りで承認してよいか。

(異議なし)

- 梅原委員長 小項目24及び25についてはいかがか。

- 鹿島委員 (学術論文や著書等の質的評価について) 昨年度からコメントしているが、法人において今後意識して努力していただくということで、この内容でよろしいかと思う。

- 梅原委員長 法人においてはこの文言をよく認識し、具体的にしっかりと進めて行っていただきたい。今後の大学の在り方にとって重要な部分である。それでは、小項目24及び25について評価の平均値に基づきA評価とし、特記事項については事務局素案のとおりとしてよろしいか。

(異議なし)

○**梅原委員長** 小項目 27 についてはいかがか。

(特に意見なし)

○**梅原委員長** では、評価の平均値に基づき A 評価とし、特記事項についても事務局素案のとおりとしてよろしいか。

(異議なし)

○**梅原委員長** 評価が分かれた項目について、いずれも承認いただいた。次に、「要確認」としている小項目 13 について審議したい。小項目 13 に対するコメントは、本日欠席している委員によるものである。したがって、後ほど委員長と事務局で相談し確定するという段取りでいかがか。

(異議なし)

○**梅原委員長** 文言の検討も含め、委員長一任とし、その後最終的にご確認いただくこととしたいがよろしいか。

(異議なし)

○**梅原委員長** 事務局に小項目評価の集計をお願いする。

事務局から資料 5 について説明した。

○**事務局** 大項目 1 (小項目 1～28) については S 評価が 4 個、A 評価が 24 個であった。大項目 2 (小項目 29～31) については A 評価が 3 個であった。大項目 3 (小項目 32～34) については A 評価が 3 個であった。大項目 4 (小項目 35～38) については A 評価が 4 個であった。大項目 5 (小項目 39～40) については A 評価が 2 個であった。評価案はすべて A となる。

○**梅原委員長** すべて A ということで、妥当か否かご意見を伺いたいがいかがか。

(異議なし)

事務局から資料 6～7 について説明した。

○**梅原委員長** 評価書案について意見はあるか。

(異議なし)

## 議題 2 第一期中期目標期間（見込）における業務実績評価書（案）について

---

事務局から資料 8～9 について説明した。

### 【質疑応答】

- 梅原委員長 評価の分かれている小項目 24 及び 25 についてはいかがか。
- 鹿島委員 （学術論文や著書等の質的評価について）2 年間にわたってコメントしているが、できれば質的評価にトライしていただきたい。現在の目標は達成しているのので、今後は資格者（講師以上）の 8 割が申請できるように期待したい。
- 梅原委員長 評価については A としてよいか。また、事務局素案についてはコメントが活かされた内容になっている。法人においては次期中期計画において目標を引き上げる等の対応してもらいたい。目標設定に当たってはよく調査の上、エビデンスを用いて実施していただきたい。
- 鹿島委員 私学・国立・公立でだいぶ違う部分があるものと思う。本学では有資格者全員が（科研費申請を）出すようにしている。研究者としてのプライドを持つようにと言っている。（公立大学と）単純に比較できないが、意見として述べさせていただいた。
- 梅原委員長 大変よく理解できるところ。今のコメントについてもしっかりと咀嚼して次の中期目標に反映させていただければと思う。では、小項目 24 及び 25 に関しての評価と特記事項についてはこれで確定するがよろしいか。

（異議なし）

- 梅原委員長 小項目 4 についても特記事項を確認したい。意見はあるか。
- 長野委員 事前質問で、精神保健福祉士の合格率が 89.5%であったことについて、将来の進路を卒業間近まで悩んでいた学生が不合格となっており、準備時間が足りなかったことが要因と考えられるとの回答があった。さらに今後もさらに学生たちへのきめ細やかな指導を徹底していくとのことであった。早い段階から相談に乗るなどの指導が必要と思いこのようにコメントした。よって、（特記事項は）この内容でよろしいかと思う。
- 梅原委員長 評価及び特記事項についてすべての項目において確定した。
- 梅原委員長 事務局に小項目評価の集計をお願いします。

事務局から資料 10 について説明した。

○事務局 大項目1（小項目1～28）についてはS評価が1個、A評価が27個であった。大項目2（小項目29～31）についてはA評価が3個であった。大項目3（小項目32～34）についてはA評価が3個であった。大項目4（小項目35～38）についてはA評価が4個であった。大項目5（小項目39～40）についてはA評価が2個であった。評価案はすべてAとなる。

○梅原委員長 すべてAということで、妥当か否かご意見を伺いたいがいかがか。

（異議なし）

事務局から資料11～12について説明した。

○梅原委員長 評価書案について意見はあるか。

（異議なし）

### 議題3 財務諸表等・利益処分案に対する意見書について

---

事務局から資料13～14について説明し、意見なしとする意見書を決定した。

#### 【質疑応答】

特になし

以上